

新 福智町商工会鉛筆寄贈事業 1年生に鉛筆をプレゼント

福智町商工会が4月8日に福智町教育委員会を訪れ、新小学1年生のために鉛筆を寄贈しました。筆記用具がなくて勉強できないことがあってはならないとの思いから始まり数十年続くこの事業について、「少しでも勉強の足しになれば」と高津青年部長は言います。鉛筆は教育委員会を通じて新一年生全 171 人に贈呈されました。



↑ 朝部教育長㊦に鉛筆を託す高津勝平青年部長㊧と浦田兼一郎さん㊨。

↓ 新型コロナウイルス拡大防止のため、開校後の受講申込は受け付けていません。



学 高齢者大学開校式 学び始めるのに年齢は関係ない

コロナ禍で休校していた高齢者大学の3年ぶりの開校式が5月12日、地域交流センターで行われました。約5か月間、町内在住50歳以上の80人がコースや書道、民舞など9つの講座のうち1つを週1回受講。黒土町長は「趣味は心の拠り所。コロナ禍で引きこもりがちだがぜひ教室を楽しんで欲しい」と激励しました。

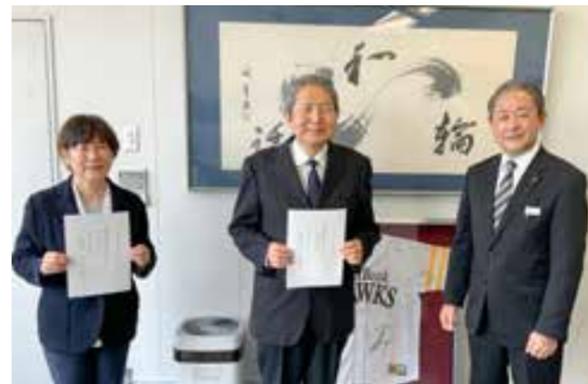
色 常立寺のツツジが満開 色とりどりのツツジを身にまとう常立寺

常立寺(神崎)のツツジが4月末頃見頃を迎え、境内を鮮やかに彩りました。本堂が建つ境内の法面を縦横に覆い尽くすツツジ数十株が、一斉に朱やピンク色に咲き乱れる様はまさに圧巻。時間帯によっては後光が射すように見えるなど、その時々で様々な表情が楽しめます。例年5月法要の時期が見頃です。



↑ ツツジの見頃が過ぎても本堂からは香春岳まで障害物なく見通せ一見の価値あり。

↓ 柴田恭子さん㊦と八隅太郎さん㊧に激励の言葉を送った朝部教育長。



教 福智町教育委員の再任 教育委員に八隅さんと柴田さんが再任

福智町教育委員に八隅太郎さんと柴田恭子さんの2人が議会の同意を得て再任しました。任期は令和4年4月20日から4年間。八隅さんは教育長職務代理者にも再任。教育委員会は、町長から独立した機関として合議により意思決定を行い、地域住民の多様な意向を反映させながら地域に根差した教育行政を行っています。

↓ 上野焼の趣深い風合いや手に取った時の感触を確かめ、自分にあった春の新作を品定めする陶芸ファン。



春 第48回 上野焼春の陶器まつり 春の新作求め陶芸ファン集う

上野焼協同組合加盟9窯元による「春の陶器まつり」が4月22日から3日間、上野焼陶芸館と各窯元で開催されました。お買い得の割引商品の販売や各窯元での露店販売が行われ、昨年の秋の窯開きに引き続き「ふれあい市」と「茶房あがの」とのコラボ企画の限定販売も大好評。訪れた約2千人の陶芸ファンは、お気に入りの逸品を探し求め、上野路を満喫していました。

個 第1回 日王の湯「似顔絵コンテスト」 個性豊かな102枚の力作を館内に掲示

十人十色の力作が集まった「第1回 日王の湯 お父さん・お母さんの似顔絵コンテスト」が日王の湯館内で行われました。4月に作品を募集し、1歳～77歳が書いた102枚の似顔絵が館内に掲示され、5月の投票期間中に入浴された人がお気に入りの一枚に投票。6月5日に入賞作品が日王の湯にて発表されます。



↑ 最多得票順に入賞作品が選ばれ、入賞者には豪華賞品がプレゼントされます。

↓ 福引抽選会の1等はカニの大盤振る舞い。日ごろの感謝を形にしました。



お 上野ふれあい市リニューアルから1周年 おかげさまで1周年「上野ふれあい市」

上野ふれあい市がリニューアルから1周年を迎え4月9日に記念イベントが開催され、商品購入者に福引券などがプレゼントされました。運営法人亜細亜産業の植田専務は「出品してくれる生産者も当初比で3倍に増え、順調に売上也伸びている。地域のおかげで今がある。これからも地域と一緒に成長していけたら」と汗を拭きました。